

私が同志社女子大学を志望校と決めた理由

高3の秋に行った同志社女子大学のオープンキャンパスで校舎の風貌、女子大ならではの雰囲気を感じ、同志社女子大学を志望校に決めました。

受験勉強の進め方【1学期】

新型コロナウイルス感染症により学校が再開したのが6月でした。それまでの自粛期間は学校から送られてくる課題、オンラインでの単語テストを計画的に、授業動画は何度も止めたリしながら見ました。そこで私は毎日当たり前に行われていた授業の大切さに気づき、学校再開後はいつもに増して真剣に授業を聞くようになりました。私は問題集をたくさん解くことが受験勉強だと思っていたんですが、今思えば1つの授業でどれだけ理解を深めることができるのか、1番の受験勉強だと思っています。

受験勉強の進め方【夏休み】

私は飽き性なので夏休みは友達と学校で勉強したり、図書館で勉強したり、家で勉強したりと場所を変えて勉強していました。学校の先生から基礎固めは夏休みまでと言われていたので、受験生だからといっていろんな問題集や過去問に下手に手を出しませんでした。私はとにかく基礎知識が足りなかったの、文法だけの教科書を1冊に図でまとめたやつ、電車の中で英語の単語帳や国語の文法書を見たりしていました。

受験勉強の進め方【2学期～入試直前】

2学期が終わる前までは授業が問題演習の時間へと変わっていました。毎日学校で問題ばかり解くのは体力的にも精神的にもきつかった。私は塾に通っていたの、放課後は学校の問題演習でわからなかったことを先生に質問したり、そこから知識を吸収したりしていました。冬休みに入ったら毎日同志社女子大学の過去問題を解きました。問題は解きっぱなしで必ずそこから何かを得ようとしてました。量より質だと思っています。

受験期に気を付けていたことやスランプの対処法

受験期は毎日スランプに陥っているようでした。返ってくる模試の結果は最後まで判定、よく判定でしたが私は同志社女子大学に行きたいという思いが強かったの、何とかやってこれたと思っています。私は目標を曲げないことが1番大切だと思っています。そのためには健康管理も大切。受験生だからと言って頑張りが過ぎて体調を崩すと元も子もないので、休む時は休む、頑張る時は頑張る切り替えが重要です。

受験生のみなさんへ

私は辛い時や勉強の合間に合格体験記を読んでいた。これを読んでいる受験生のみなさんには、楽しいキャンパスライフを想像して頑張ってもらいたい。応援しています！

